



新年号

発行所
水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館内
公益財団法人茨城県消防協会
編集発行人
消防協会長 葉梨 衛
印刷所
(有)堀口印刷
1部 15円
(購読料は負担金に含まれています)



年頭に寄せて

公益財団法人茨城県消防協会

会長 葉梨 衛

令和七年の輝かしい新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

消防団員・消防職員の皆様方には、火災や事故・災害などから、地域住民の生命・身体・財産を守るため、昼夜を分かたず、献身的にご活躍されておりますことに対し、深甚なる敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

また、消防関係諸団体の皆様方には、消防防災に対する深いご理解のもと、熱心なご支援等をいただいていることに対し、心より御礼申し上げます。

我が国の消防は、戦後、地域に密着した自治体消防として発足し、昨年十一月には、日本消防会館におい

て、天皇陛下御臨席のもと、自治体消防七十五周年記念大会が開催されるなど、節目の年となりました。

こうした中、これまで先人達の並々ならぬご尽力により、消防体制が着々と充実強化されて参りましたことは、誠にご同慶の至りでございます。

さて、昨年は、元日の能登半島地震や、梅雨時期から夏にかけての度重なる豪雨災害などにより全国各地で甚大な被害が発生し、また、新年に入りましても、南海トラフ地震との関連性は無かったものの、日向灘を震源とするマグニチュード6・9の地震が発生するなど、改めて、近年の頻発化・激甚化する自然災害の脅威を再認識したところであり、このように、いつ発生するか予測

のつかない自然災害から被害を最小限にとどめるためには、地域において日頃から備えを万全にしておくことが重要であり、そのためには、消防団が中核的な役割を果たしながら、常備消防との連携のもと、住民総参加の地域防災体制を確立していくことが益々重要になってくると考えております。

当協会といたしましても、消防の持つ使命の重要性を深く認識し、本県消防の更なる発展のため、今後とも、消防防災技術の向上や、消防団等の組織の強化、消防職・団員の士気の高揚、消防防災思想の普及啓発など各種事業を積極的に推進して参る所存でございます。

なお、消防団員が減少し、地域防災力の低下が懸念されている中、団

員確保のため、女性や学生等の幅広い住民の入団促進や、機能別団員制度の導入、団員の報酬等の処遇改善、事業所との連携強化などに、消防団長はじめ多くの関係者の方々には特段のご尽力をいただいております。改めて、感謝申し上げます。

本年度は、県とともに、消防ポンプ操法大会のあり方の検討を行うなど、団員の負担軽減策にも取り組んでおりますので、どうか皆様方におかれましては、消防団の万全な体制の構築に向けて、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年の無事平穏とともに、皆様方とご家族様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

茨城県知事 大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

皆様には新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、約三十年ぶりに株価が史上最高値を更新し、高水準の賃上げが実現するなど、我が国経済がデフレ脱却への転換点を迎えた一方、

「2024年問題」など、様々な場面で人手不足の影響が顕在化しました。

急激な人口減少をはじめ、物価高騰、頻発化・激甚化する自然災害など、私たちを取り巻く社会情勢は急激に変化しており、乗り越えなければならぬ課題も山積しています。

私は就任以来、この激動の時代の到来を見据え、その荒波を乗り越えるため、「挑戦」「スピード感」「選択と集中」の三つの基本姿勢のもと、先手先手で、困難な課題にも躊躇することなく果敢に挑戦してまいりました。

その結果、昨年公表された令和三年度の県民経済計算の推計結果において、本県の経済成長率は国を大幅に上回り、一人当たりの県民所得は過去最高の全国第三位となりました。

また、県外企業立地件数は七年連続で全国第一位となったほか、総務省の人口動態調査では、過去五年間にわたり外国人を含めた人口の「社会増加数」、「増加率」ともに全国上位で推移するなど、本県が人口減少に打ち勝つための重要な成果が次々と表れてきております。

本年は、加速度的に進む人口減少による危機を乗り越えていくため、人口の「社会増」に焦点を当て、国内外から「茨城に住みたい、住み続

けたい」人が大いに増える「選ばれた茨城」づくりに、全力で取り組んでまいります。

まず、豊かで経済力のある社会の構築に向け、本県の生産性を更に向き上させるため、適切な価格転嫁と賃上げの両立により経済が好循環する環境づくりを進めていくとともに、利益率の高い職場を創出するための戦略的な企業誘致や、差別化と高付加価値化による儲かる農林水産業の実現、海外の力を本県に取り込むための企業の海外展開支援、インバウンド誘客などを加速させてまいります。

また、安心安全につながる生活基盤の充実に向け、医療や福祉、防災・減災対策に力を入れますとともに、多様な人材が活躍する社会の実現を目指し、魅力ある教育への改革を進めるほか、深刻な労働力不足を踏まえ、優秀な外国人材の確保・育成や生活・教育環境の整備に力を入れてまいります。

本年も、県民の皆様とともに、変化を恐れず、新たな挑戦を続けてまいりますので、なお一層のご協力、ご支援をお願いいたします。

皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。



一月十六日(木)に茨城県庁講堂において、茨城県との共催による「令和六年度茨城県女性消防団員活性化大会」を開催しました。
各市町村消防団長や女性消防団員など、三百名を超える参加者により、会場は、ほぼ満席となりました。



葉梨会長あいさつ

大会では、葉梨会長と山崎県防災・危機管理部長の主催者挨拶の後、女性消防団員による日頃の活動事例発表のほか、休憩時間を利用した、活動事例のPR展示を行いました。

【活動事例発表】

○利根町消防団

「町民からの依頼に応える出前講座」
分団長 地脇倫代 外三名

【活動事例PR展示コーナー】
○北茨城市消防団
○稲敷市消防団

最後に、総務省消防庁消防団等充実強化アドバイザーであります、「元青森市青森消防団本団分団長の田中茂子」様を講師に招き、「女性消防団員に求められること」というテーマで、避難所運営での消防団員の役割や、女性リーダーの存在、継続的な実地訓練の重要性、地域の実情に合わせた取組みの必要性などについて、自身の体験などを交えながら、お話しいただきました。

女性団員にとっては、今後の活動に向けて、大変参考になる講演となりました。

田中様には、遠路、お越しいたゞき、感謝申し上げます。



田中茂子講師

日本消防協会主催
**消防団幹部特別研修・
 消防団幹部候補中央特別研修**

日本消防協会主催による「第五十一回消防団幹部特別研修」が、一月十四日(火)～十七日(金)の三泊四日で、日本消防会館において開催され、本県から、那珂市消防団の住谷団長が参加されました。

ここに、住谷団長からの寄稿文をご紹介します。



住谷啓二 団長

「消防団幹部特別研修を終えて」

日本消防協会主催の「第五十一回消防団幹部特別研修」に、茨城県を代表して、全国の消防団幹部の方々と共に、三泊四日の研修に参加し、大変貴重な経験をさせていただきました。身に余る光栄に感謝申し上げます。

この上級幹部に対する研修では、災害時の対応能力の向上や自主防災組織との連携強化などについて、多

くの方々と活発な意見交換を行うことができました。

私にとっても、秋本会長の講話をはじめ、全国の消防団の活動事例や団員確保の苦労話等を聴き、意見交換を行えたことは宝であり、研修を通して、幹部としての自覚を強く持つこともできました。

その中でも、最も印象に残ったのは、石川県珠洲市消防団長の秋前団長による身を持っての貴重な体験談でした。自身が、今でも仮設住宅で生活し、不慣れた生活の中にあつて、団長として地域の先頭に立ち災害復興に取り組んでいる姿に、とても感銘を受け、涙が止まりませんでした。

そして、私自身も、災害に強く、安全・安心な地域を創っていくには、自主防災組織と更なる連携強化を図っていかなければならないことを強く決意した次第であります。

最後に、今回、研修にご推薦いただいた公益財団法人茨城県消防協会葉梨会長様、研修期間中、種々ご支援等いただいた財団法人日本消防協会の職員の皆様や那珂市消防本部の担当者など多くの関係者の方々に、改めて感謝を申し上げたいと存じます。

「皆様、大変お世話になり、本当にありがとうございます。」

また、「第二十四回消防団幹部候補中央特別研修」に本県から参加する研修生の方々は、次のとおりです。

〈男性消防団員の部(三名)〉

一月二十九日(水)～三十一日(金)

北茨城市消防団

団員 上神谷 耕太

団員 山形 優弥

常陸大宮市消防団

副分団長 田口 秀和

〈女性消防団員の部(二名)〉

二月十九日(水)～二十一日(金)

行方市消防団

団員 田沼 絢子

団員 梅原 千尋

お忙しい中、研修にご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。身につけた知識を活かし、益々のご活躍を期待いたしますとともに、これから参加される方にとっては、実りある研修となりますことを祈念いたします。



令和七年
消防出初式

新春を飾る消防出初式が、今年も一月十一日(土)・十二日(日)・十三日(祝)・十九日(日)の四日間で、県内三十九市町村において、盛大に開催されました。(※四市町は、二月から三月にかけて、春季点検式として開催される予定。)

式典において永年のご功績が認められ、表彰を受けられました皆様方に心からお祝いを申し上げます。

また、事前準備や当日も寒い中、早朝より対応されました関係者の皆様方、大変お疲れ様でした。



葉梨会長 美浦村出初式



大井川知事 取手市出初式



懇談会の様子

令和6年度 支部別消防団長等 懇談会を開催

当協会主催の支部別消防団長等懇談会は、各消防団長及び消防長出席のもと、昨年十二月から二月にかけて次のとおり、順次開催しております。

懇談会では、県・学校・協会から各議題について説明した後、質疑応答や、支部毎の課題等について、熱心に議論をいただいているところで

【懇談会議題】

- ・消防団の充実強化等について(県)
- ・令和七年度消防学校教育訓練計画(案)の概要について(消防学校)
- ・令和七年度茨城県消防協会事業等について(消防協会)

【開催日程等】

○県南北部支部(五市)

- ・令和六年十二月十八日(水)
- ・かすみがうら市地域福祉センター「やまゆり館」

○県南南部支部

(九市町村十二広域消防本部)

- ・一月十七日(金)
- ・魚と酒菜とき和

○県北支部

(九市町村十一広域消防本部)

- ・一月二十八日(火)
- ・茨城パシフィック

カントリー倶楽部

○県央支部(六市町)

- ・一月三十一日(金)
- ・小美玉四季文化館のりれ

○県西支部

(十市町十三広域消防本部)

- ・二月十二日(水)
- ・ピ・アーンジュ YUKIYA

○鹿行支部(五市十二広域消防本部)

- ・二月二十六日(水)
- ・割烹旅館霞ヶ浦

【記事訂正について】

第七〇〇号で掲載した第七十回茨城県消防ポンプ操法競技大会地区大会審査結果の記載に誤りがありました。

県南南部地区
ポンプ車操法の部

審査結果個人 三番員

(誤) 高田 博武
(正) 森 健太郎

お詫びして訂正いたします。



編集後記

本年も、協会の行事等にご理解とご協力を頂きながら進めてまいりますので、よろしくお願いたします(え)

オリジナル Tシャツ
アポロキャップ
徽章類
消防グッズ各種

水戸スポーツ株式会社

水戸市袴塚1-1-2

TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

全国シェアNo.1の消防車メーカー
(株)モリタの各種消防自動車
常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目

小型動力消防ポンプ・消防用ホース
救助資機材・潜水機材・消防用被服
防災用品・消防用品・消防資機材

茨城県代理店
有限会社 鈴 機

〒315-0014 石岡市国府5-2-25
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic

自動火災報知設備
非常電源設備
自家発電設備
CVCF設備
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店

株式会社入江電機工業所

本社 水戸市大工町2丁目3番23号
TEL.029-224-4614(代表)
☎310-0031 FAX.029-224-4613

土浦営業所 土浦市並木1丁目2番20号
☎300-0061 TEL.029-821-8498(代表)
FAX.029-822-6575

トーハツ小型消防ポンプ

VE90AS 最大量1.5m³毎分
VC72PROIII 操法最適
VF63AS 4ストローク B2級
VF53AS 4ストローク B3級
VF21AS 4ストローク C1級

消防服装 消防器 防災備蓄食品
船外機 発電機 消防資機材

茨城県代理店

トキワ産業株式会社

水戸市三の丸3丁目7番1号
TEL.029(224)3324(代) FAX.029(224)3360